

まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
連絡先 市まちづくり推進室 ☎43・8113



福津で国内初の国際大会

玄界灘カイトボードチャンピオンシップ2019



▲大島を背に大きなジャンプを決める選手

玄界灘カイトボードチャンピオンシップ2019が10月5日・6日、白石浜海水浴場で開催されました。カイトボードとは、風を用いて風力を使いながら、ボードで水上を滑走するスポーツのことです。2024年のパリオリンピックでは、カイトボードの競技のうち1種目が正式種目として採用される予定です。

この大会は、国内初となる国際カイトボード協会公認として開催されました。技を競うフリースタイルでは、回転しながら宙を舞ったり、数mもの高さのジャンプをしたりするなど、大技が繰り出されるたびに会場からは歓声が起きました。

大人気アーティストが福津でライブ

宗像フェスふくつ恋の浦



▲手拍子や体を揺らして大熱狂

渡半島にある恋の浦で9月21日、野外音楽フェスティバルの「宗像フェスふくつ恋の浦」が開催されました。台風の影響で22日は中止になりましたが、21日は日本各地から多くの音楽ファンが集まりました。福岡市から来た女性は「間近で好きなアーティストを見て良かった」とうれしそうに話してくれました。また会場で出たプラスチックごみをリサイクルし、翌年のグッズにするなど、環境問題への取り組みも行っていました。

生き物とのつながりを考える

ふくつ環境シンポジウム2019



▲生き物との共生について語るマーク教授

ふくつ環境シンポジウム2019を九州工業大学環境デザイン研究室との共催で10月5日、津屋崎中学校で開催しました。当日はフロリダ大学のマーク・ホステットラー教授から生き物とのつながりや育てるまちづくりに関する講演がありました。また、県立水産高校の生徒や地域で活動する人々から生き物の保全活動の事例紹介などがありました。集まったおよそ150人は、生き物との共生について考える機会になりました。

光の道がおいしいスイーツに

光の道 開運スイーツフェア



▲祈願祭でスイーツをお披露目した新木さくらさん(中央)

海に沈む夕日の光が宮地嶽神社へと続く参道を照らす「光の道」。これを見ることができるとは2月と10月です。

月31日まで、光の道開運スイーツフェアを開催しました。市内の18店舗が、ミカンやマングー、金粉などで光の道をイメージして作ったオリジナルのスイーツを販売しました。また宮地嶽神社参道の門前町では、期間中、おみくじ付きの松ヶ枝餅の販売もありました。

フェア開催前の9月30日には、宮地嶽神社でスイーツの運気を上げるための祈願祭を実施しました。スイーツを試食した市親善大使で、アイドルグループLinqの新木さくらさんは「運氣が上がりそう」と笑顔で話してくれました。

世界文化遺産を満喫

ふくつの古墳まつり



▲古代の装飾を施した馬の説明を聞く参加者

ふくつの古墳まつりが10月13日に新原・奴古墳群でふくつの古墳まつり実行委員会の主催で開催されました。「知って」「歌って」「楽しんで」をテーマに、会場内の珍しい古墳の案内や勾玉などの手作り体験の他、古代膳である飛鳥汁を味わうことができました。フィナーレは市親善大使のミサンガがライブでまつりを盛り上げていました。

これからもますますお元気で

100歳を祝う慶祝訪問



▲1月で100歳になる山形さん(右から2番目)

市内には9月時点で今年度100歳を迎える人が17人います。9月19日には100歳の市民を祝う慶祝訪問を市長と県の担当者が行いました。対象者にはそれぞれ国と県から祝い状、市からは福津産の花束などを贈呈しました。陶芸を趣味にしている山形四郎さんは「いつも周りの人に支えてもらって感謝です」と話してくれました。